

「道内の感染状況等（道案）」に対する主な意見

1 有識者・専門家の意見

1-①

道案に異論なし。

新規感染者が高止まりの状況にある中で、オミクロン株の別系統への置き換わりによる再拡大が懸念されており、引き続き感染防止行動の徹底が必要。検査キットの供給確保に力を入れるよう国に働きかけるとともに、行政検査を優先した上で、無料PCR等検査の拡大、集団感染が多発している福祉施設への人的・物的支援に全力をあげていただきたい。

また、相談対応や物資支援など、自宅療養者へのサポート体制の充実についてもお願いしたい。

1-②

道案に異論なし。

高齢者施設や医療機関でのクラスターの発生が続いている。病床利用率にとどまらず、利用可能な医療資源の確保に努めていただきたい。

1-③

札幌市内は、コロナ感染患者の転院や救急患者の受け入れで大変な状況となっている。保育園で感染が拡大している状況にあるので、ある程度、休園等の対応は止むを得ないと思う。

また、引き続きワクチン接種の更なる加速が必要と考える。

2 市町村・関係団体の意見

2-①

集団感染の発生状況について、今回は医療施設と福祉施設に限定して作成されているが、重点措置の前後における比較をするため、従前どおり飲食店や事業所、学校の数値も記載するのが望ましい。

2-②

感染者が増加し自宅療養者が増えている。北海道として、自宅療養者に対し、体調に異変があった場合の対応方法など、しっかりと周知していただきたい。

また、ワクチン接種を円滑に進めるため、4月以降の供給スケジュールを早めに示すよう、国へ伝えていただきたい。